参考１

令和３年度からのグローバルリーダーズハイスクール（GLHS）の指定について

１．GLHS指定の経緯について

　　　・平成21年６月の教育委員会会議において、下記10校（以下、「現指定校」という。）を平成23年度から平成26年度までGLHSに指定することを報告。

・平成26年度に「大阪府グローバルリーダーズハイスクール評価審議会（以下、評価審議会という。）」が行った３年間の総合評価を踏まえ、平成27年度から平成29年度まで現指定校を再指定。

・平成29年度に評価審議会が行った平成26年度から平成28年度の総合評価を踏まえ、平成30年度から令和2年度まで現指定校を再指定。

府立北野高等学校、府立豊中高等学校、府立茨木高等学校、府立大手前高等学校、

府立四條畷高等学校、府立高津高等学校、府立天王寺高等学校、府立生野高等学校、

府立三国丘高等学校、府立岸和田高等学校

２．現指定校の評価について

　令和２年７月17日に実施した評価審議会において、平成29年度から平成31年度における評価が行われた。評価は、各校が独自に取り組む「確かな学力の向上」などの「取組評価項目」と、現指定校が共通して取り組む「英語運用能力」などの「実績評価項目」の２つに大きく分けられ、それぞれに設定している４つの項目のほぼすべてが「成果を上げた」とされるA以上の評価となった。

　また、評価審議会として「現指定校がそれぞれの特色を競い合ってすばらしい成果を上げた。令和３年度からの３年間も現指定校をGLHSに指定すべきである」との結論が出された。

３．今後のGLHSの方向性

令和２年7月17日に実施した評価審議会において、「現指定校以外の学校を育てるような仕組みづくりを検討すべきである」、「GLHSの評価項目に成果普及の観点を入れるべきである」といった提言がなされた。

これを踏まえ、今後、各校で実施している課題研究発表会等に他校生徒が参加したり、教員研修に他校教員が参加したりするなど、他校への普及についても評価項目に取り入れる。これにより、成果をより普及させるとともに、立地を生かし、各地域の人材を育成する拠点校となることをめざす。